

PRESS RELEASE

報道資料

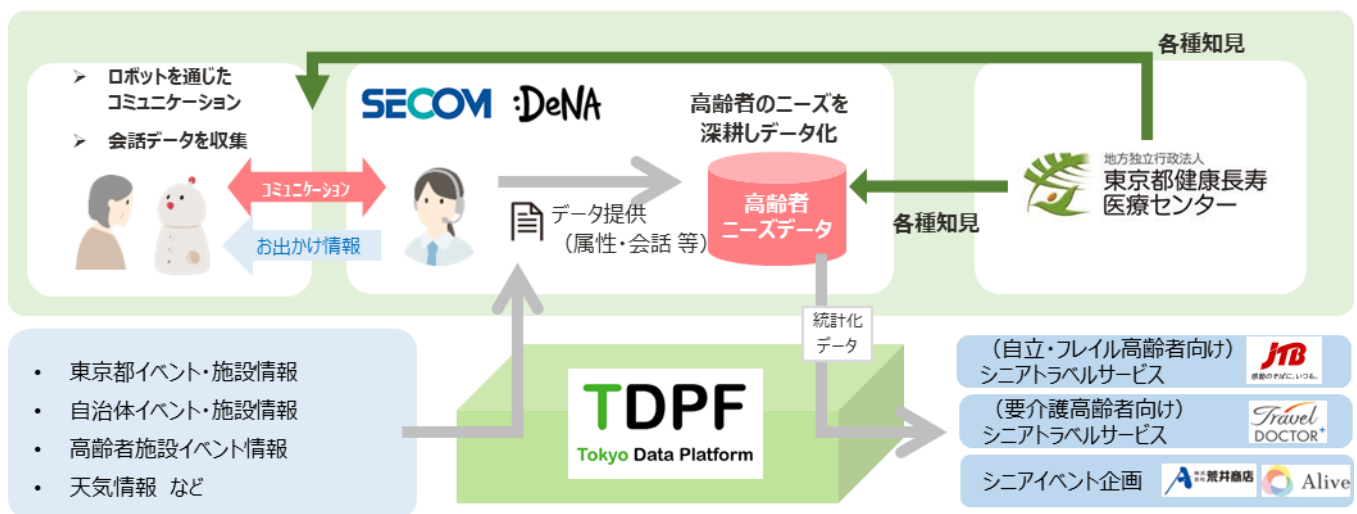
セコム株式会社 コーポレート広報部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1 TEL.(03)5775-8210

2023年8月17日

セコム株式会社

「高齢者のフレイル予防・QOL 向上に向けたおでかけ促進プロジェクト」実証を開始 東京都「東京データプラットフォーム ケーススタディ事業」として採択

セコム株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：尾関一郎）が株式会社ディー・エヌ・エー（以下 DeNA）、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、株式会社荒井商店、株式会社アライブメディアケア、株式会社 JTB、トラベルドクター株式会社と共同で策定した「高齢者のフレイル（※1）予防・QOL（※2）向上に向けたおでかけ促進プロジェクト」が、東京都の「東京データプラットフォーム（TDPF）ケーススタディ事業」として採択され、8月より実証を開始します。



本プロジェクトは、セコムと DeNA が提供するロボットを使ったシニア向けコミュニケーションサービス「あのね」を活用した情報提供により高齢者の外出を促進するとともに、高齢者のニーズを聞き取り、フレイル予防や QOL 向上につながるサービスに活かせるかを検証するものです。

具体的には、荒井商店が運営するサービス付き高齢者向け住宅「リーフエスコート国立富士見台」、アライブメディアケアが運営する介護付き有料老人ホーム「アライブ浜田山」のご入居者の居室、および「セコム暮らしのパートナー久我山」（※3）の近隣に住まわれるご高齢者宅に「あのね」で使用するコミュニケーションロボット「BOCCO emo」（ユカイ工学製）を導入。

設置した「BOCCO emo」を通じて高齢者向けイベント情報など、高齢者の外出意欲が高まるような情報提供を行い、外出回数の増加を図ります。「BOCCO emo」との会話の内容や高齢者からのヒアリングで得られたデータを東京都健康長寿医療センターとともに検証し、高齢者の外出意欲向上・行動変容との関連性を確認し、QOL 向上への寄与度を検証します。

また、本実証を通じて構築された高齢者ニーズデータを、JTB およびトラベルドクターへ展開し、高齢者のフレイル予防・QOL 向上につながるサービス創造の可能性について検証します。

本実証の結果は、TDPF の利活用事例として、TDPF のサービス普及・活用促進に活用されていきます。

※1 フレイル：健康な状態と要介護の中間にある、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。

※2 QOL (Quality of life)：生活の質

※3 「セコム暮らしのパートナー久我山」：東京・杉並区で地域の「暮らしの相談窓口」として、高齢者やそのご家族のお困りごとの解決をサポートするとともに、社会に役立つサービスの創造を目指す拠点。

【報道関係者の方からのお問い合わせ】

セコム株式会社 コーポレート広報部 井踏、竹内
TEL：03-5775-8210 E-mail：press@secom.co.jp

■プロジェクト概要

・名称

「高齢者のフレイル予防・QOL 向上に向けたおでかけ促進プロジェクト」

・実施期間

2023 年 8 月～2024 年 3 月

・内容

ロボットを通じて、高齢者との日常コミュニケーション、外出関連情報の提供を実施して、高齢者の外出意欲向上・行動変容を促します。得られたコミュニケーションデータや高齢者からのヒアリングデータなどは研究機関へ提供。コミュニケーションおよび外出情報と、高齢者の外出意欲向上・行動変容への関連性などを確認し、QOL 向上への寄与度を検証するとともに、各種データと研究機関の知見・ノウハウをもとに高齢者のニーズデータを構築。高齢者ニーズデータをソリューション事業者へ提供し、高齢者のフレイル予防・QOL 向上につながるサービス創出可能性について検証を進めるものです。

・役割分担

プロジェクト実施者名	役割	業務の範囲
セコム(株)	主幹・実施主体 (共同代表)	・プロジェクト企画推進 ・コミュニケーションサービス提供 (運行管理) ・モニター集め、各社調整、各種とりまとめ
(株)ディー・エヌ・エー	実施主体 (共同代表)	・プロジェクト企画推進 ・コミュニケーションサービス提供 (オペレーション) ・コミュニケーションサービスデータ集計・分析
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	プロジェクトアドバイザー	・プロジェクト企画推進補助 ・コンサルティング ・各種データの分析支援・高齢者ニーズデータの構築支援
(株)荒井商店	実証場の提供・運営フォロー	・モニター集め ・各種ヒアリング (高齢者属性データの集計) ・実証中のフォロー (機器トラブル対応等)
(株)アライブメディケア	実証場の提供・運営フォロー	・モニター集め ・各種ヒアリング ・実証中のフォロー (機器トラブル対応等)
(株)JTB	データ利活用への助言	サービス構築事業者の立場での 「高齢者ニーズデータ」に対する助言
トラベルドクター(株)	データ利活用への助言	サービス構築事業者の立場での 「高齢者ニーズデータ」に対する助言

■「東京データプラットフォーム ケーススタディ事業」について

東京都では、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出す「スマート東京」の実現に向け、官民のデータ流通を促し、社会課題の解決を目指す「東京データプラットフォーム (TDPF)」を今年度稼働予定です。ケーススタディ事業では、TDPF の稼働を見据えた先行事例として、官民の様々な分野のデータを掛け合わせ、新たなデータ利活用のユースケースを創出するプロジェクトを実施します。

■「あのね」について

コミュニケーションロボット「BOCCO emo」を通じて、シニアの孤独解消を手助けするサービスです。ご利用者の生活パターンに合わせて「起床」「お薬」などの声掛けや雑学情報といった話題を配信。ご利用者からの話しかけにはコミュニケーターが返信するので、自然な雑談をしながら、いつも誰かとつながっている安心感を感じていただけます。

<参考>

・報道資料 (2023 年 3 月 23 日)

ロボットを通じたコミュニケーションでシニアの孤独解消を手助け
コミュニケーションサービス「あのね」を発売

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2022/nr_20230323.html

